

件名索引

凡 例

1. 見出し項目の配列：各項目の発音により五十音順に分け、その中をさらに五十音順(電話帳方式)で配列してあります。まず、初めに『見出し語目次』(82頁-88頁)にて検索したい項目の掲載頁をお求め下さい。
2. 論文の配列：見出し項目をゴシック体(太字)とし、その項目に該当する論文を掲載欄別に掲載時期の早いものから順次配列してあります。欄の優先順位は概ね、特一講一研一症一解一論一紹一座一言となっています。
各論文は題名、著者名(筆頭者1名、座談会は司会者名)、巻数(丸中数字は号数)、頁数、(論文の種類(欄名)の順で記載しました。なお、欄名の略称は、本号巻頭の「本書の使用法」を参照下さい。
3. 同義語・参照項目：同義語のうち代表的なものを取り、その中にまとめました。また、他の語で引いても所在が分かるように案内記号(☞)を用いてあります。主なものを挙げますと下掲のようです。
 - ・進行性筋ジストロフィー、Duchenne型筋ジストロフィー☞ジストロフィー
 - ・脳血管障害☞脳卒中
 - ・RA、関節リウマチ、慢性関節リウマチ☞リウマチ
 - ・パラプレジア☞脊髄損傷また、例えば「QOL」「MRI」「CT」などのように略語の使用が多い用語については欧文略語に纏めてあります。ただ、この類の纏めは不完全ですので、同義語、類義語については関連する全ての語で検索して下さい。
4. 「件名索引」から引かれる頻度の低いと思われる下記の欄については割愛してありますので、これらの欄の検索の折には「総目次」をご覧ください。
「とびら」、「雑誌レビュー」、「創草期からの証言」、「資料」、「本の紹介」、「書評」、「文献抄録」、「お知らせ」、等々。